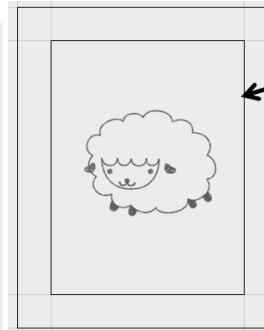
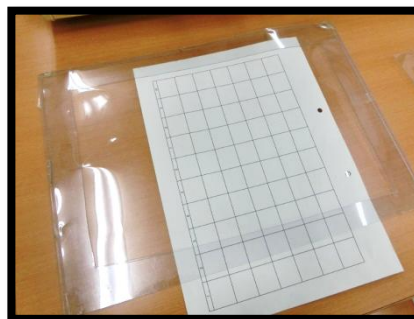


1 ポイント（特に工夫した項目に○ いくつでも）

作成者：木谷俊彦（中学部）

教材教具の工夫	
1 実態に合っているか？	○
2 ねらいが明確か？	○
3 興味関心を生かしているか？	○
4 シンプルで誰でも再現可能か？	○
5 一目で動作をイメージできるか？	○
6 児童生徒も教師も使いやすいか？	○
7 実際の生活や他の場面で生かせるか？	



透明クリアケースの片面のみを切り取って絵や用紙をはさむ。隅で押さえられているので用紙がズレない。



3 教材教具のねらい

- ・画用紙などの用紙を固定することができる。

2 生徒の実態（学級グループ）

- ・画用紙に色を塗ったり、書字などの活動の際に力加減が難しく、用紙をぐちゃぐちゃにしてしまうことがある。

4 改善の経緯

（1）以前の生徒の様子

- ・パステルアートなどの彩色の活動や書字の活動の際に、強くこすったり、色を塗ってはいけない箇所まで彩色してしまい、用紙をぐちゃぐちゃにしてしまう場面が多く見られた。

<改善のポイント!!>

- ・裏面に滑り止めが必要。

（2）使用例と生徒の様子

- ・用紙の隅が固定されているため、安心して彩色活動に取り組むことができるようになった。

<今後の改善や使用について>

- ・いろいろなサイズの用紙も固定できるようA4、B4、A3サイズなどの物が必要。